

磐城時報

本報発行人 阿部 弘 印刷所 加納承版所 福島県石城郡平町磐城時報社

東部電告發事件

平署愈々取調開始

業法違反の危険ヶ所 實地調査を爲す

平町長橋町高木喬氏が東部電力主任の出署を求めてゐるが、同會社平營業所を業法違反で平署社の配電線中平町新田町一角の

檢舉された廣瀨は

稀代の保険詐欺

福島出張所長の名刺を振り廻し 新入の加入詐欺

(昨報)小名濱町福田屋に避暑客命東京支店日比谷出張所外交員

張所長の名刺を偽造して此れを振り廻はし中村町地方の名士を訪れて保険を勧誘し加入金數百圓を横領してゐたもので同様余罪頗る多い見込み。

舊盆極貧者救済

歳末舊盆と二年町内極貧者を救済してゐる平助成會ではいよ

流石軍國青年

自轉車で東京から走破 赤井村の点呼に参加

赤井村大字高萩農草野吉長男の青年を生んだのは郷土の誇り

五十圓寄附

伊關吳服店が

(既報)白鼠四名の賑番頭を出し

分團長以下一致して 入營家族に手傳ひ

北白土分團の美舉

飯野村大字北白土字田代農加藤

臨時列車

運轉を申請

中野では舊盆中ジャンガラ念佛盆踊を紹介し且見物客吸收の手段として舊十四、五、六の三日

植田野球組合決定

(昨報)植田野球協會主催野球大會は十一月二日の二日に日

頌徳記念碑建立

故師を慕ふ人々が 木村守江氏等發起で

飯野村大字北白土字田代農加藤房義(三三)は昨年十二月朝鮮

高久郵便取扱 事務所建設成る

高久村郵便取扱事務所は豫て建設工事中であつたが此の程竣工したので十二日午前十時から落成祝賀式を興行する。

小名濱捕鯨 會社復活か

平捕獲二百頭といふ大きな見込で創められた日本捕鯨會社の小名濱事業場は會社の都合により

店主が店員を連れて行かれ 正シキ食堂 正シキ喫茶 正シキ酒場

平・田町 レストランサロン 電三五二 鼻の薬「チクノール」 山野邊藥局

創業三年にして既に休業の儘宏大な敷地建物は爾來立腐れの

暑中御伺

小田 萩原 鑛業部
萩原 申 八

古河 炭 好間 鑛業所
所長 工學博士 下野 十朗

津川 炭 鑛主
好間元山炭鑛 小田吉治
隅田川炭鑛

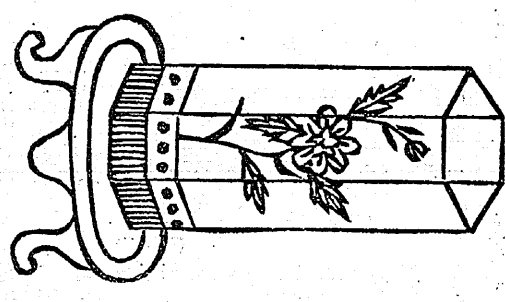
暑中御伺 看護婦 派出 平看護婦會
政家婦 會長 清野キヨ
電話三〇七番

平電力株式會社
栗原欣治郎

新發明 透明障子紙
福島、茨城、宮城、栃木、四縣下一手販賣

發賣元 阿部商店
伊勢屋 電話四五番

齒科 神谷齒科醫院
平町古鍛冶町九一 神谷辰夫



六花糖
長ク一尺二十 六時間は保ちます

腫物、おでき切らずに治る
良薬 八方散
平一(電六九九) 水野藥

新時代の要求

本會は篤實老練なる看護婦を急派の御用命に應じます。

電話三〇七番 平看護の會
會長 清野キヨ子

附屬に 家政婦も派出致します
◎御手不足の御家庭 ◎輕い御病人の附添 ◎妊婦産婦の御家庭 是非御用命を願ひます。

開業御披露

貸切の御用命は 電話七十九番へ
新車を購入致しました
迅速親切 御客様本位
平町三丁目警察署通り
平夕クシ 電話七九番
◎長距離は特に御相談に應じます

難波醫院

内科 小兒科
入院 應需 自炊の便あり
平町大町 電話五〇二番
士博學醫 睦波難

父白鴻院新盆佛事上小川村生家に於て相營
み申候處誠に乍勝手供物一切辭退申上候
白井一郎

長谷川寅次郎氏を候補者に

謹啓 時下盛夏の候貴下益々御清榮之段奉
大賀侯陳者本月十五日執行せらるる當町々
會議員再選舉に際し
推薦仕り候御承知の通り同氏は今回栗原氏
提出の訴願事件の爲め失格し再び選舉場裡
に臨むのやむなきに至りたるものにして眞
に同情に堪はず同氏は人格高尚識見卓越し不
變不黨嚴正中立を持し過去十七年間町會議
員として幾多の功績を現し居る事は既に各
位の認め居る處なり依て茲に下名等政黨政
派を超越し一切の情實を捨て同氏を推薦し
誓て其當選を期する次第に御座候
如斯次第に有之候へば何卒貴下 御支援を
熱烈なる御同情を以て下名等 所期の目的
を達せしめられ度茲に謹みて奉悃願候
昭和九年八月 敬白

- 推薦者
- 吉田 彌十郎
 - 植田 萬治郎
 - 面川 龜之助
 - 大和 安太郎
 - 須藤 久太郎
 - 菅波 末吉
 - 小田 湊宗吉
 - 吉田 壽三郎
 - 長谷川 西次郎
 - 金谷 成岩吉
 - 長谷川 長太郎
 - 鈴木 幸次郎
- 責任者 四倉町字新町七十四番地 吉田彌十郎

内科 小兒科 花柳病科
藤沼醫院
平町紺屋町 電話平四五〇七